

主催



特定非営利活動法人 World Open Heart

高齢化社会と 加害者家族支援

犯罪に巻き込まれた人々の支援を考える

急速に進む高齢化社会において、高齢者が強盗や特殊詐欺の被害に遭うケースが増加する一方、自動車事故など犯罪の加害者になってしまうケースもあります。このシンポジウムでは、ある日突然、高齢の家族が加害者になってしまうケースに焦点を当て、発展途上にある加害者家族支援の現状と課題について、専門家を交えて議論します。

2025.3.1 日 14:00-16:00

会場 聖イグナチオ教会 岐部ホール305

(〒102-0083 東京都千代田区麹町6丁目5-1)

参加費 無料

司会

柳川 朋毅

イエズス会社会司牧センター・Inter7共同代表

報告者

阿部 恭子

特定非営利活動法人WorldOpenHeart 理事長
Inter7共同代表・ノンフィクションライター

ゲスト

木下 大生

武蔵野大学人間科学部教授



赤い羽根
福祉基金

お申し込み方法

下記のいずれかの連絡先にお名前と電話番号またはメールアドレスを記入して開催日前日までお申し込みください。
参加者が定員に満たなければ、お申し込みがなくても当日ご参加いただけます。

✉ world.open.heart@gmail.com ☎ 022-707-0497

お問い合わせ

090-5831-0810 (阿部)



武蔵野大学人間科学部教授
NPO法人風テラス理事
一般社団法人東京TSネットワーク理事

ゲスト

木下 大生 (きのした だいせい)

神奈川県出身。大学卒業後、医療ソーシャルワーカー、知的障害者通所授産施設支援員、国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究係長、聖学院大学准教授を経て、現職。専門は、障害者福祉、ソーシャルワーク。

著書 『認知症の知的障害者への支援:「獲得」から「生活の質の維持・向上」へ』
(単著: ミネルヴァ書房、2020年)

『知的障害と認知症: 家族のためのガイド』
(監訳: 現代人文社、2021)

『ソーシャルアクション! あなたが社会を変えよう! :はじめての一步を踏み出すための入門書』
(共編著: ミネルヴァ書房、2019年)

他



特定非営利活動法人 World Open Heart 理事長
Inter7 共同代表

報告者

阿部 恭子 (あべ きょうこ)

東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了(法学修士)。2008年大学院在学中、日本で初めて犯罪加害者家族を対象とした支援組織を設立。全国の加害者家族からの相談に対応しながら講演や執筆活動を展開。

著書 『高学歴難民』
(講談社現代新書、2023)

『加害者家族を支援する—支援の網の目からこぼれる人々』
(岩波ブックレット、2020)

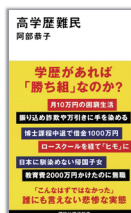
『家族が誰かを殺しても』
(イーストプレス社、2022)

『家族という呪い—加害者と暮らし続けるということ』
(幻冬舎新書、2019)

『家族間殺人』
(幻冬舎新書、2021)

『息子が人を殺しました—加害者家族の真実』
(幻冬舎新書、2017)

他



『高学歴難民』(講談社現代新書、2023)

既に6刷 話題沸騰中!

社会を良くするたしかな一歩



赤い羽根
福祉基金